

## 第1号議案

# 令和6年度 事業報告書

社会福祉法人  
ふかや精神保健福祉の会まゆだま

社会福祉法人ふかや精神保健福祉の会まゆだま  
令和6年度 事業報告

### 【法人本部】

新型コロナ感染症が5類へ格下げされて1年が経過し、シーズンによる増加はあるものの、爆発的な感染拡大を招くことはございませんでした。また、令和の米騒動と言われた米の価格を始め、ありとあらゆる物価が高騰した1年もあります。ガソリン代や日用品代など、当法人の事業活動にも少なからず影響をもたらしました。令和5年度の人事院勧告では30年来の賃上げと題し、国家公務員の基本給が底上げされています。国家公務員俸給表を使用する当法人でも平均4%のベースアップとなり、従業員の待遇改善に寄与しました。

さらに、法人の体制も大きく変化した1年でした。安定した法人運営を目指し、NPO法人から社会福祉法人への変革に尽力し、フレンドリーの管理者から法人事務局まで、法人の要となる業務をいくつも所掌されていた持田理事が令和5年度末で退職されたためです。これにより、全事業所の管理者を仲村理事が兼務することになり、事業所間の垣根が低くなつたように思われます。法人事務局については、いなくなつて分かる持田理事の偉大さを痛感しながら、仲村理事と事務局田村の2人体制で持田理事1人分を目指そうと奮闘して参りま

した。

就労支援では、はぶたえ移行支援事業から8名が、継続事業からも1名就職者が出ていました。フレンドリーでは昨年度同様、残念ながら就職に結びついた方はいませんでしたが、実習や短期訓練など、力をつけてきた利用者には相応の支援を行いました。また、グランドホテル清掃が再び繁忙となり、安定的に仕事が入ったことにより、平均工賃上昇につながりました。

就労定着支援事業「つむぎ」も7年目に入り、就労定着へ大きく貢献しています。

一方、共同生活援助事業グループホーム「桑ねっこ」は、長らく入所されていた利用者2名の退所を見送り、新たな入居者を迎えるなど動きのある1年となりました。業務継続計画（B C P）の観点から重要となる、はぶたえ職員の派遣も継続しており、有事の際にグループホーム事業を継続できるよう努めています。

## 1. 役員・評議員

	定数	現員
理事	6以上	6
監事	2以上	2
評議員	7以上	7

※ 任期：理事・監事：令和5年6月15日～

令和6年度に関する定期評議員会終結まで

評議員：令和3年4月1日～

令和6年度に関する定期評議員会終結まで

## 2. 理事会・評議員会の開催

日 時	会議名	議 事
令和6年5月28日	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和5年度事業報告</li><li>・令和5年度決算報告 監事報告</li><li>・施設整備等積立金について</li><li>・令和6年度夏季賞与について</li><li>・処遇改善加算金の配分について</li></ul>
令和6年6月18日	定時評議員会	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和5年度事業報告</li><li>・令和5年度決算報告 監事報告</li><li>・欠員に伴う役員候補者の選任について</li></ul>
令和6年7月23日	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年4、5、6月収支報告</li><li>・はぶたえ「就労移行」定員削減（案）</li><li>・はぶたえ「就労継続」定員増員（案）</li></ul>
令和6年9月24日	第3回理事会	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年7月、8月収支報告</li><li>・最低賃金引上げに伴う非常勤職員時間給の引上げについて</li><li>・令和7年度人件費算定に令和6年度人事院勧告給与表を使用することについて</li><li>・令和7年度より、処遇改善加算金の一部を毎月の手当として支給することについて</li><li>・ジョブサポートはぶたえ運営規程、重要事項説明書の変更について</li><li>・グループホーム「桑ねっこ」運営規程、重要事項説明書、利用契約書の変更について</li></ul>
令和6年11月26日	第4回理事会	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年度上半期収支報告</li><li>・令和6年度 冬季賞与について</li><li>・令和6年度 前期処遇改善加算金の配分について</li><li>・グループホーム「桑ねっこ」運営規程、重要事項説明書の変更について</li></ul>

令和7年1月28日	第5回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度 10、11、12月収支報告</li> <li>令和7年度 人件費及び人件費予算について</li> </ul>
令和7年3月25日	第6回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度1月、2月収支報告</li> <li>令和7年度 事業計画（案）及び予算（案）について</li> </ul>
令和7年3月25日	第6回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常勤職員対象の勤続年数に応じた時間給変更について</li> <li>役員改選について</li> <li>評議員選任解任委員の選定について</li> </ul>

### 3. 運営委員会の開催

8月を除く毎月第2水曜日に実施。

日 時	会議名	議 事
令和6年4月10日	第1回運営委員会	はぶたえ50名、フレンドリー30名、桑ねっこ8名つむぎ9名の月次報告・処遇検討
令和6年5月15日	第2回運営委員会	はぶたえ49名、フレンドリー30名、桑ねっこ8名、つむぎ10名の月次報告・処遇検討
令和6年6月12日	第3回運営委員会	はぶたえ50名、フレンドリー29名、桑ねっこ8名、つむぎ10名の月次報告・処遇検討
令和6年7月10日	第4回運営委員会	はぶたえ49名、フレンドリー30名、桑ねっこ8名、つむぎ10名の月次報告・処遇検討
令和6年9月11日	第5回運営委員会	はぶたえ48名、フレンドリー30名、桑ねっこ8名、つむぎ11名の月次報告・処遇検討
令和6年10月9日	第6回運営委員会	はぶたえ53名、フレンドリー31名、桑ねっこ7名、つむぎ11名の月次報告・処遇検討
令和6年11月13日	第7回運営委員会	はぶたえ56名、フレンドリー31名、桑ねっこ7名、つむぎ11名の月次報告・処遇検討
令和6年12月11日	第8回運営委員会	はぶたえ55名、フレンドリー31名、桑ねっこ6名、つむぎ11名の月次報告・処遇検討
令和7年1月15日	第9回運営委員会	はぶたえ54名、フレンドリー32名、桑ねっこ7名、つむぎ10名の月次報告・処遇検討
令和7年2月12日	第10回運営委員会	はぶたえ54名、フレンドリー33名、桑ねっこ7名、つむぎ9名の月次報告・処遇検討
令和7年3月12日	第11回運営委員会	はぶたえ51名、フレンドリー33名、桑ねっこ7名、つむぎ9名の月次報告・処遇検討

### 5. 各種委員会の開催

運営委員会の前後で実施。

日時	会議名	議事
令和6年4月10日	第1回感染症対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業所の感染状況確認</li> <li>感染症対策研修の内容について</li> <li>次回開催日の確認</li> </ul>

令和6年7月10日	第2回感染症対策委員会	・各事業所の感染状況確認 ・感染症対策研修の振り返り ・次回開催日の確認
令和6年10月9日	第3回感染症対策委員会	・各事業所の感染状況確認 ・感染症対策研修の12月について ・次回開催日、議題確認
令和6年10月9日	危機管理・防災対策委員会	・危機管理防災対策委員会について ・研修について
令和7年1月15日	第3回感染症対策委員会	・各事業所の感染状況確認 ・次回開催日、議題確認
令和7年2月12日	虐待防止委員会 身体拘束等適正化委員会	・虐待防止規程、身体拘束等適正化のための指針等確認 ・令和7年度に向けての体制確認 ・研修実施状況確認
令和7年3月12日	令和6年度自然災害発生時におけるBCP委員会	・実地訓練の実施状況について ・来年度の研修、訓練について

## 6. 職員体制

	管理者	サービス管理責任者	就労支援員	目標工賃達成指導員	生活支援員	職業指導員 世話人
はぶたえ移行	1 (兼務)	1	1		1	2(1.8)
はぶたえB型				1	1	4(2.4)
つむぎ			就労定着支援員1			
フレンドリー	1 (兼務)	1		2 (1.0)	1	7(3.6)
桑ねっこ	1 (兼務)	1 (兼務)			世話人： 7 (1.6) (兼務)	
本部事務局	2(兼務)					

※ ( ) は常勤換算数

## 7. 実施事業

事業所名	事業種類	定員	指定日	所在地
ジョブサポートはぶたえ	就労移行支援	12 (11月より10)	平成29年4月1日	深谷市上野台2504-1
	就労継続B型	18 (11月より20)		
フレンドリー	就労継続B型	20		深谷市稻荷町1丁目1-33
桑ねっこ	共同生活援助	8		深谷市緑ヶ丘3-9フジハイツ105
つむぎ	就労定着支援		平成31年3月26日	深谷市上野台2504-1

## 8. ボランティア・見学の受入

『彩の国ボランティア体験プログラム』に登録しているが参加者は0名であった。

精神保健福祉実習は、立正大学から2名、東京福祉大学から1名の学生を受け入れた。

## 9. 研修

資格取得に係るサービス管理責任者基礎研修及び実践研修のほか、法人全体研修として障害者虐待防止及び身体的拘束等適正化研修、感染症対策研修、自然災害発生時における業務継続計画に関する研修を実施した。

## 10. 財務 別紙決算報告のとおり

### 【ジョブサポートはぶたえ】

#### 1. 利用状況

就労移行（定員12名→11月より10名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
利用数	7.8	7.7	7.2	7.7	8.2	9.3	9.2	9.0	10.0	10.6	8.6	7.7	8.6(名)
稼働率	64	63	60	64	68	77	76	90	100	106	86	77	77(%)

継続B型（定員18名→11月より20名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
利用数	18.2	18.0	18.3	16.7	15.5	17.3	18.5	21.4	20.7	18.6	17.7	19.1	18.3(名)
稼働率	101	99	101	92	85	96	102	107	103	93	88	95	96.8(%)

#### 2. 支援内容

##### 1 就労移行支援事業

この1年で8名が就労に結びつき、コロナ以降一番多くの就職者を出すことができた。

例年では、移行事業の性格から就職者が多い年は稼働率が下がってしまうが、今年度は一日の平均利用人数は8.6名（前年比+0.8名）。平均稼働率は77%（前年比+13%）と下がることなく維持できた。令和5年度は稼働率5割を下回る月があったが、定員数を削減したこともあり、今年の最低値は60%、最高値は100%を超える月もあり、昨年度よりも改善した。

これは、今まで当事業利用者のほとんどが就労継続B型からの転籍者であったが、施設見学会を所外に向け開いたことなどから、継続事業を経ずに直接移行事業への利用者が増加したことが、就職者を多く出しても全体の稼働率の改善につながったと思われる。

現在も就労継続B型事業への新規利用者及び、利用日数の増加傾向もみられることから、例年通り支援の中でスムーズな転籍を図り、当事業所の強みを意識しながら、転籍以外から就労移行の利用も図れるよう他機関との連携や周知を進めていきたい。

##### 2 就労継続支援B型事業

この1年の一日平均利用人数は18.3名（前年比+3.6名）で、平均稼働率は約97%（前年比+15.8%）となった。定員を超える利用者があったため、11月から定員を18名から20名に増員している。

今後も他機関との連携や周知、個別支援を通じて、この状態を推し進めていきたい。

まだ参加日数の少ない利用者の通所日数の安定化を図ることで就労に向けた準備を支援し、スムーズな就労移行支援事業への転籍を進めていきたい。

平均工賃は、8,490円（前年比-1,224円）であった。利用者は増加しているが、それに見合うだけの収入の増加がなかったため、結果的に工賃は減少している。

今後も就労に繋がる作業の種別の検討と充実を図りながら、通所意欲及びその先の就労意欲に結びつくような工賃アップを図っていきたい。

### 【フレンドリー】

## 1. 利用状況

継続B型（定員20名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
利用数	17.2	16.8	18.4	17.7	14.9	15.4	16.6	18.1	16.6	15.0	17.3	17.3	16.8(名)
稼働率	86	84	92	88	74	77	83	90	83	61	86	86	83(%)

## 2. 支援内容

1年間の平均利用人数は16.8名（前年比-2.1名）、平均稼働率は83%（前年比-11%）。昨年度は稼働率100%を超えた月が複数回あったが、今年度その勢いはない。1月に関しては、月全体の利用人数の減少に加え、年末年始に少人数で所外活動のみを実施したことが拍車をかけて、6割台まで落ち込んだ。

年度中、約3名の利用者が入院や施設入所のため退所や通所を一時中断している。この穴を埋めるべく、新規利用者を獲得してはいるものの、通所日数が少なく、すぐに退所してしまったメンバーもいるため、稼働率改善には至っていない。稼働率は低下したが、グランドホテル清掃が繁忙となり、受注量は増加したため平均工賃も比例するように増加。結果として令和7年度の体制で平均工賃区分が上昇している。

就職者に関しては今年度も出せていない。実習等を実施したメンバーはいるが本人の希望と企業のマッチングがうまくいっていない現状がある。施設外就労先から障害者雇用の話が出ているため、この機会を有効活用し次年度は就労へ繋げていきたい。

## 【グループホーム「桑ねっこ」】

### 1. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
利用数	7.0	7.0	7.0	7.0	6.4	6.0	6.0	6.0	6.6	7.0	7.0	7.2	6.6(名)
稼働率(%)	87	87	87	87	80	75	75	75	82	87	87	90	83(%)

※稼働率は、小数点以下を切り捨て

令和6年3月より1名の長期入院者が出たこと、8月にもう1名入院があり平均利用人数は-1.2名、稼働率は-14%となり前年度と比べ減少している。

### 2. 特記事項

当年度中、2名の利用者が退所する運びとなった。うち、1名は精神科病院へ長期入院となり、グループホームの籍が残っている間は週1回の面会を実施するなど、入院中も積極的なかかわりを継続した。また、長らく空室となっていた205号室をグループホームとして運用するための手続きを実施。令和7年度4月より定員を1名増やし9名での運用となる。

## 【つむぎ】

### 1. 利用状況

就労定着支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
利用数	10	9	9	9	9	9	10	9	7	9	8	8	8.33(名)

### 2. 支援内容

7年目を迎える定着支援事業つむぎは、月平均8.83名（前年度比+0.5名）が利用した。

支援内容は、職場の人間関係、勤務時間の延長に対する悩み、体調の変化、家族との関係等多

岐にわたっており、月1回の面談をベースに、時には職場への支援や電話相談を重ねながら支援を行っている。

利用期限は3年間ではあるが、就労の前から重ねてきた支援を『定着支援』として継続することは、就労安定に効果は高いと言える。